

環境レポート2012

2011年4月～2012年3月（平成23年度活動）



目次

- ごあいさつ
- 体制図
- 環境中期目標
- 温暖化対策
- 環境パフォーマンス
- 平成23年度の
環境目標・実績
- 平成23年度の
環境活動

□ ごあいさつ

 日本無線硝子株式会社

代表取締役社長 依田 正樹

お客様の欲する製品を、適正な価格、適切な納期でご提供することが、結果的に環境負荷の低減につながる、これが製造業である日本無線硝子株式会社の、環境に対する基本的な考え方です。

当社は、ISO14001環境マネジメントシステムを導入して、本年で10年目の節目となりますが、この基本的考え方をもとに、早くから本来業務と環境を結びつけた活動をして参りました。

当社の製品は、硬質ガラスと称して成型に技術を要するガラスですが、その種類は多岐にわたります。それをガラス職人が、お客様の仕様に応じて、一つひとつ、ていねいにものづくりをしている、日本でも特異な会社です。

ガラスをつくるには、主原料として地球資源である硅砂、溶融するためのエネルギーとして電力や天然ガスを大量に消費します。

この大切な資源を有効に活用するため、溶融炉の小型化や、炉の操業方法の改善など、創意と工夫でエネルギー効率を高める努力をして参りました。

また昨年からは、埼玉県の新しい施策、「目標設定型排出量取引制度」が始まり、当社も、エネルギーの大規模消費事業者として、二酸化炭素の排出量を、基準年度比、6%削減する目標に取り組んでおります。

現在のところ、目標は大きく達成しており、この状態を維持すれば所定の目的を達成するものと期待しております。

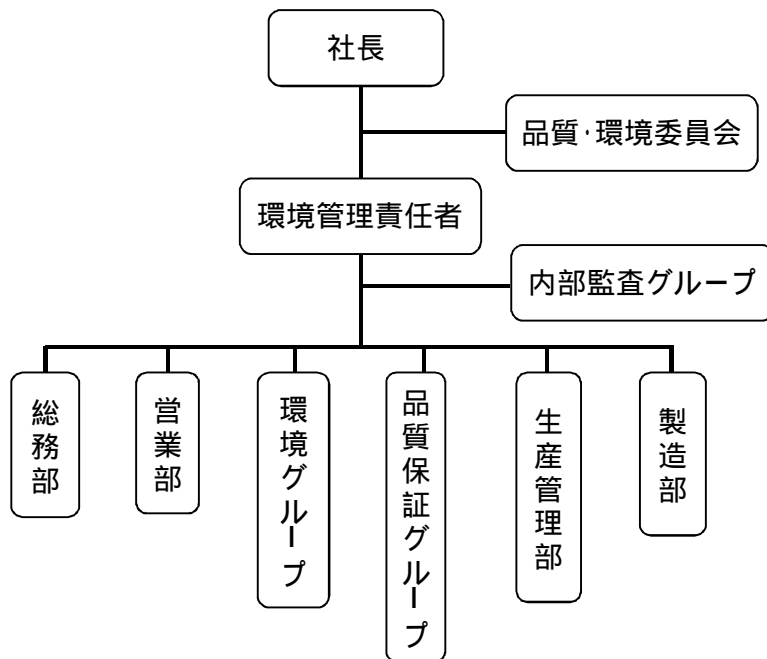
そのほか、市内の小中学生の工場見学を積極的に受け入れ、製品とならなかったガラスが、ふたたび溶融炉に投入され、リサイクルしていることを説明するなど、環境教育に一役買っております。

これからは、職人技能の、さらなる向上と、職人技能と機械の融合化などに取り組み、さらに環境負荷を低減する努力をして参ります。

ここに「環境レポート2012」をまとめました。私たちの環境への取り組みとその現状について、ご一読いただき、ご意見をいただければ幸いです。

2012年7月

□ 環境マネジメント体制図



写真：東京大学宇宙線研究所神岡素粒子研究施設提供

環境関連法定管理者

当社は第2種エネルギー管理指定工場です。
エネルギー管理士、公害防止管理者、その他の法定管理者が選任され、活動しています。

環境方針は、弊社のホームページをごらんください。(www.jrg.co.jp)

□ 環境中期目標

1. 地球温暖化対策を強化し、環境にやさしい事業活動を目指す

平成23年度～26年度のCO₂排出量の平均値 基準値比8%削減
(県条例は6%削減)
基準値：4,993 t - CO₂ (平成17年度～19年度平均値)

これは、埼玉県の目標設定型排出量取引制度に対応したものです。

2. 環境負荷の低減

産業廃棄物のリサイクル率 96%以上

上乗せ目標		基準値	埼玉県条例：第1計画期間				第1期間の平均値
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
CO ₂ 排出量 (t - CO ₂)	目標量	4,993	4,594	4,594	4,594	4,594	4,594
	削減率		8%	8%	8%	8%	8%
	実績		4,100 (18%減)				

□ 温暖化対策（中期計画）

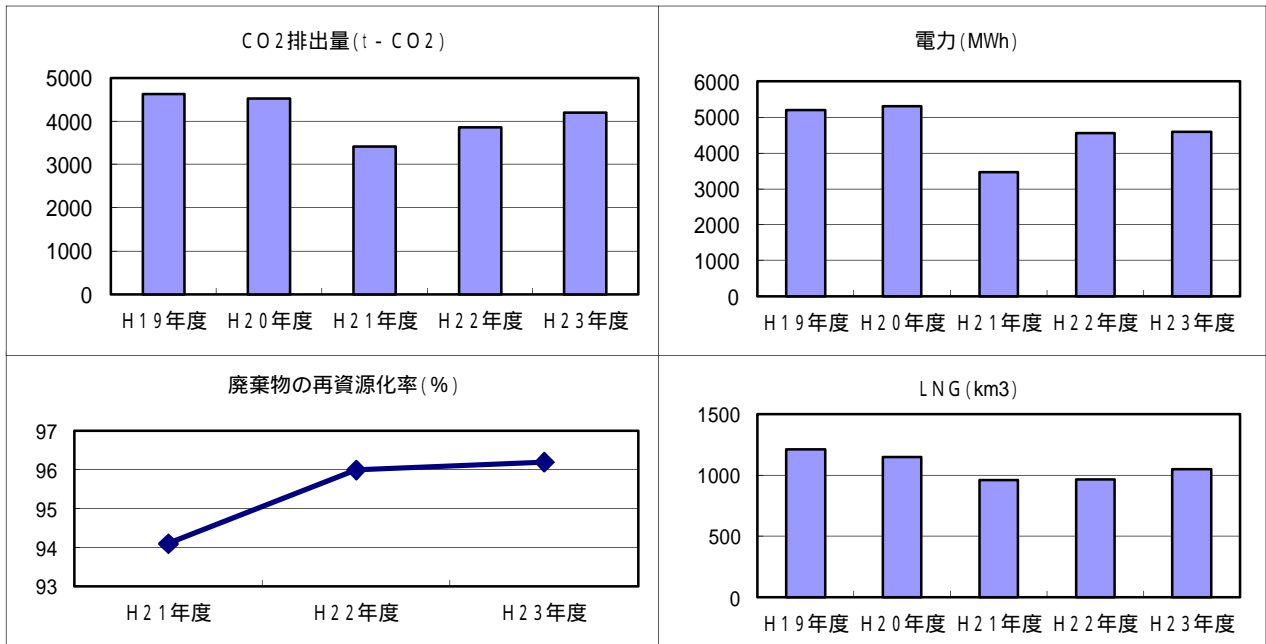
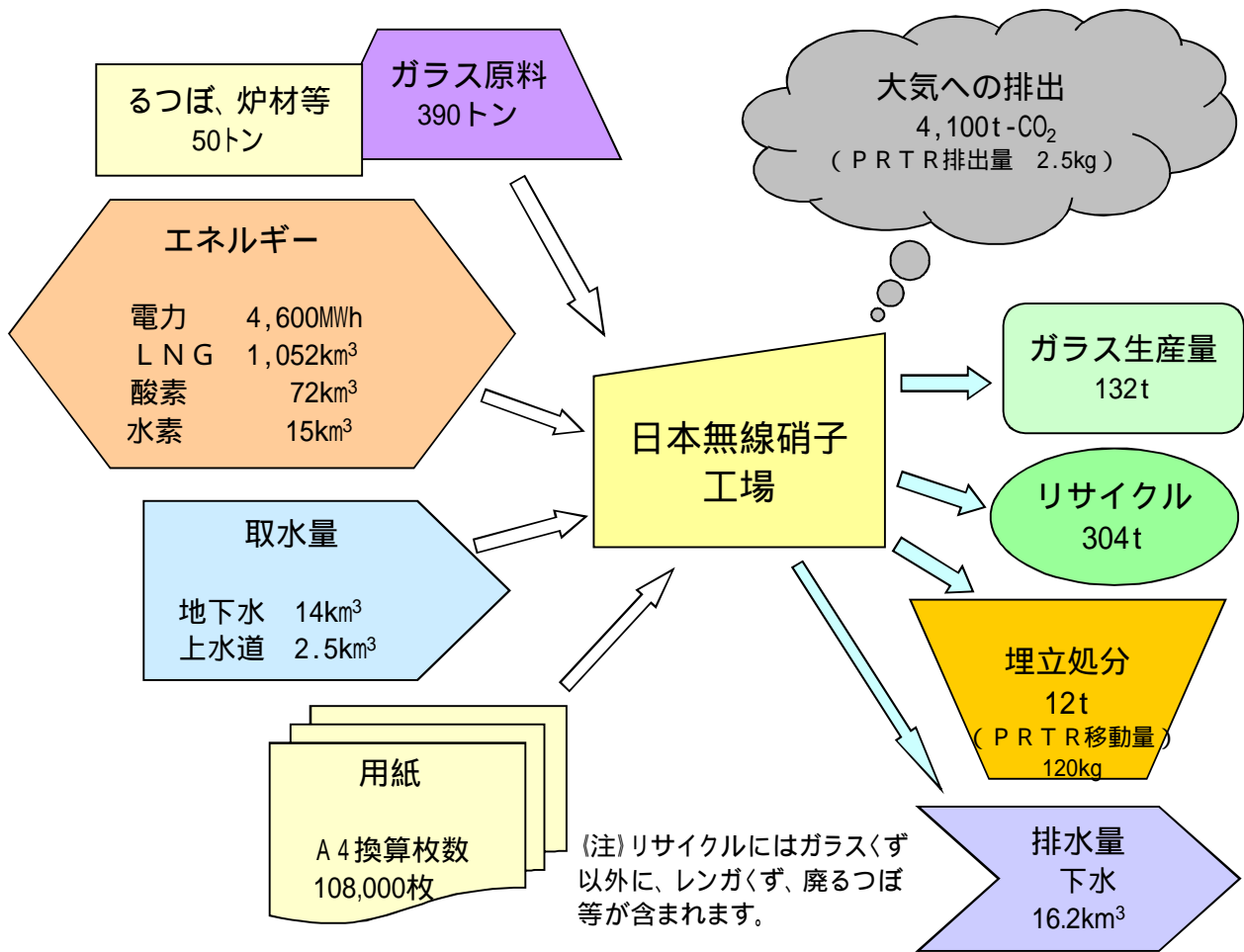
1. 電力使用量削減の取り組み

成型現場の作業用大型エアコンの更新
電気炉の運転方法の改善
成型作業の半自動化研究

2. LNG使用量削減の取り組み

ガラスカットの自動化研究
小型炉の運転手順見直し

環境パフォーマンスの現状



下水排水水質分析結果

定期的に採水し、分析していますが、BODや鉛、砒素等の値は、規制値を大きく下回っています。

	法規制値	測定値
BOD	600mg/l	72
SS	600mg/l	150
鉛化合物	0.1mg/l	0.01未満
砒素化合物	0.1mg/l	0.02

□ 平成23年度の環境目標とその実績

1. 地球温暖化対策の強化

目標：CO₂排出量を、平成17～19年度平均値を基準とし、8%削減

実績：基準値 4,993 t に対し、平成23年度 4,100 t 18%削減
目標に対し、大幅達成となりました。

2. 環境負荷の低減（環境保全の継続的取り組み）

目標：産業廃棄物のリサイクル率 96%以上

実績：96.2% わずかではありますが、目標を上回りました。

定期環境測定項目として、大気汚染防止法および下水道法による規制物質を監視していますが、いずれの項目も規制値を大幅に下回っております。

□ 平成23年度の環境活動

1. 作業及び工程見直しによるエネルギー効率向上を目指す

ガラスの溶融方法を見直し、電気炉中心の成型作業に転換、るつぼの稼働を減らし、LNGの使用量を削減できました。また、ガラス成型技能を上げるため、教育訓練に力をいれ、若手の技能向上を図った結果、歩留が上がりエネルギー使用効率が向上しました。

2. 自動化による生産性の向上

ガラス成型の半自動化を研究しています。
また、受注から出荷までの作業を、さらに効率を上げるべくコンピュータシステムを見直しています。

3. 生物多様性への対応

地下水に、周辺生物に悪影響を及ぼす有害物質が、規制値を超えて含まれていないか監視しています。これまで法規制を超えたことはありません。
この監視は、埼玉県生活環境保全条例に基づいて実施しています。

4. 社会貢献

市内小学校の工場見学を受け入れています。今回は元福小学校の皆さんが来られ、当社のガラスの成型作業や、ガラスがリサイクルされていることを学んでいきました。

エコキャップ運動に4年前から取り組んでおります。昨年度は、約9700個回収し、ポリオワクチン24名分相当となりました。



日本無線硝子株式会社
〒356-0011
埼玉県ふじみ野市福岡
2-1-8
電話：049-264-4411